

2025 年度 事業報告

【理事会】

- ・2025 年 5 月 29 日 第 1 回理事会 ハイブリッド開催
- ・2025 年 10 月 16 日 第 2 回理事会 ハイブリッド開催
- ・2026 年 2 月 19 日 第 3 回理事会 WEB 開催
- ・2025 年 6 月 19 日 臨時理事会 WEB 開催
- ・2025 年 6 月 30 日 メール審議理事会
- ・2026 年 2 月 27 日 メール審議理事会

【社員総会】

- ・2025 年 6 月 19 日 定時社員総会 Web 開催
理事 31 名、監事 2 名、評議員 40 名を承認した。

【2025 年度受取会費】

正会員医師：207 名 2,070,000 円

正会員メディカルスタッフ・一般の方：1474 名 4,332,000 円

※無料会員 30 名あり

賛助会員：26 社 25,500,000 円

計 31,902,000 円

※上記以外に、連携会員：9 団体、アドバイザー会員：19,425 名

【予防啓発委員会】

- ・「協会認定循環器病アドバイザー制度」（人材育成委員会と共同事業）2025 年度実施。
受講期間 第 1 期：2025 年 8 月 1 日～2025 年 9 月 26 日、
第 2 期：2026 年 2 月 1 日～3 月 27 日
受講者総数：1,075 名、認定者総数：977 名
- ・「協会認定循環器病エキスパートアドバイザー制度」（人材育成委員会と共同事業）創設。2025 年初年度実施。
受講期間 2025 年 10 月 15 日～2026 年 1 月 26 日
受講者総数：2,958 名、認定者総数：2,873 名
- ・アドバイザー制度・エキスパートアドバイザー制度 アンケート実施。
- ・優秀循環器病アドバイザー表彰：アドバイザー初年度認定者対象に公募実施。53 名の応募があり、人材育成・予防啓発委員会委員で採点、最優秀 5 名、優秀 5 名を選出。2026 年 2 月 21 日に大阪 GRFW 後に表彰式開催。
- ・YouTube Health 部門と協同し、救急の日に合わせて救急対応動画作成；『心臓発作』もし目の前で心臓発作・心停

止で倒れた人がいたら？対処法を解説【日本循環器協会】 2026/4/20 現在 11,961 回再生。

- ・協会とアムジェン社との協同による、ACS クリニカルパス（神奈川モデル）作成事業進行中。ACS クリニカルパスの国際間比較 paper を publish（Global Low-Density Lipoprotein Cholesterol Targets for Patients With Acute Coronary Syndrome - Current Guidelines and Clinical Pathways. Minami Y, et al. Circ J. 2026 Feb 25;90(3):266-273.）
- ・Pfizer 公募「心房細動の早期発見や、心原性脳塞栓症予防のための体制構築」事業、奈良県住民健診を対象に実施。データ集計中。
- ・一般向け心不全啓発ホームページ事業 「心不全のいろは」「Spotlight On Heart Failure」継続。
- ・一般向け心不全治療薬情報ページ事業 「知っておきたい心不全の治療薬」継続。
- ・循環器病アドバイザー対象、賛助会員の疾患啓発小委員会発のメールマガジン準備開始。
- ・食品認証制度について協議。「スマートミール」や「かるしお」との連携を実施。

【患者連携委員会】

- ・患者家族相談支援センターWG：相談件数 35 件（2025 年 4 月から 2026 年 3 月）、多職種相談員チーム 18 名で対応
- ・患者家族のニーズ見える化事業 WG：ニーズ見える化ホームページ公開
- ・患者団体連携の会事業 WG：第 90 回日本循環器学会学術集会総会に患者会ブース出展、第 3 回連携患者会交流会「循環器病患者みんなの WA」 2025 年 6 月 29 日 東京・大阪・ウェブのハイブリッド開催 参加者合計 54 名（スタッフを含む）、HP に連携患者団体についてのページ新設、連携患者会月例会議開催（合計 10 回）、連携会員（患者会）入退会：「マルファンネットワークジャパン」退会（3 年間に活動参加歴がないため）、「LVAD 座談会」入会、2023 年加入の 8 団体は継続承認 現在 9 団体
- ・患者就労支援事業 WG：両立支援企業向けセミナー2026 年 3 月 2 日月曜 17-19 時 参加者 54 名

【人材育成委員会】

- ・2024年度に作成した介護職員に対する啓発用 e-learning 動画の視聴者数調査、アンケートを行い、動画の広報活動を行った。
- ・心不全療養指導士養成に資する取り組みとして、「心不全療養指導士 症例報告書 作成支援セミナー2025」を開催した。
- ・特別支援学校を含む学校の養護教員を対象とする循環器疾患に関する教育ニーズについて、複数の団体を通じて意見交換を実施した。その結果、循環器疾患に関する教育ニーズの優先順位は高くなく、特別支援学校現場においては「一般的な情報提供」よりも「個別の児童生徒に対する具体的対応策」へのニーズが高いことが明らかとなった。また、教員の業務多忙の実情を踏まえると、ニーズを探るためのアンケート調査等の追加的負担を依頼することは現実的ではないと判断し、養護教員への本件アプローチについては一旦中止することとした。
- ・予防啓発委員会と連携し、循環器病アドバイザー、エキスパートアドバイザー制度の運営に参画した。

【医療連携委員会】

- ・地域医療における地域連携のあり方検討プロジェクト
- ・二次性心筋症早期発見のための一次・二次診療圏医師向けポケットガイド作成
- ・ATTR-CM 病診連携のための手帳を作成
- ・実地診療下での心不全診療実態調査プロジェクト
- ・心筋梗塞後患者手帳の作成事業プロジェクト
- ・心不全再入院予防継続管理料新設に伴う病診連携推進プロジェクト

【調査研究委員会】

- ・肺高血圧症 (PAH) の診療実態調査事業をヤンセンファーマ株式会社・PAH 患者の会と共同で実施。患者から 161 件、医師からは 211 件のアンケート結果を収集。第 89 回日本循環器学会学術集会（2025 年 3 月）で発表し、Pulmonary Therapy 誌にて発表した（Murakami N, Asano D, Tokushige N, Omura J, Watanabe M, Nomura S, Kitaoka H, Tamura Y. Diagnostic Delays and Quality of Life in Japanese Patients with Pulmonary Hypertension: A Nationwide Survey. Pulm Ther. 2025 Jun;11(2):249-268. doi: 10.1007/s41030-025-00290-6. Epub 2025 Mar 18. PMID: 40100574）。
- ・LVAD 在宅管理に関するアンケート調査研究をニプロ株式会社と実施。アンケートを全国の医療機関・患者・介護者を対象として実施。内容を 2025 年 3 月の日本循環器

学会にて発表し、第 63 回日本人工臓器学会大会（JSAO 2025）/IFA0 2025 : The meeting of International Federation for Artificial Organs 2025 にて 2025 年 11 月 20 日ランチョンセミナーにて発表。

- ・遠隔医療における心不全早期検出システム事業にて、全国 11 施設で心電図 AI を実施するプロジェクトを推進。ほぼ全ての施設において心電図データの収集が完了。当初の計画の通り、心不全患者を対象として、ウェアラブルデバイスからの心不全を検出するソフトウェアについては PDMA に申請を行っている。並行して一般人を対象とし、心不全を検出するソフトウェアを開発し、FDA 承認に向けて、現在 FDA との議論を行っている。
- ・NDB を用いた県別 ACS 再発率解析事業をアムジェン株式会社と共同で、全国や都道府県毎の急性冠症候群患者の再発率や医療の質の実態を調査。

【国際交流委員会】

- ・海外団体事業との連携
- ・Go Red for Women への参加
- ・日本での Go Red for Women 事業の推進

【産官学連携委員会】

- ・賛助会員などとの共同事業における助言
- ・賛助会員企業との産産協議会の実施

【総合企画委員会】

- ・ホームページ制作と管理
- ・機関誌 COCORO 制作
- ・都道府県支部との連携・支部ホームページ運用
- ・循環器医療機関見える化マップ事業
- ・「健康ハートの日」予防啓発活動
- ・「健康ハートフェス」市民啓発活動
- ・JCA プロモーション活動（学会展示・フットサル）
- ・他学会との共同事業
- ・心不全療養指導士応援 HP 事業

※2025 年度事業報告においては「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。